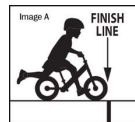


STRIDER CUP 12インチ 世界統一レギュレーション (2019年7月31日改定)

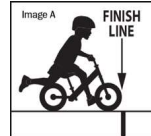
- 1 保護者は、すべての規則を順守しなくてはならない。
- 2 2歳クラス、3歳クラス、4歳クラスの出場可能車両はSTRIDER (ストライダー) 12インチモデルのみとする。
- 3 自己所有の車両のみ出場が許可される。共有車両での出場は認められない。
- 4 保護者はライダーがコースに入る前に参加同意書に署名を行い提出しなければならない。
- 5 保護者はライダーの年齢を証明する保険証を所持し、オフィシャル (運営スタッフ) の求めに応じて提示しなくてはならない。
- 6 すべてのライダーはスターティングエリアでクルー1名の付き添いを許可される。クルーは保護者もしくはライダーを監督できる小学生以上でなくてはならない。
- 7 クルーはレーススタート時にライダーの体に触れてはならない (スタート時にライダーの背中を押す行為は厳禁とする)。
- 8 緊急時を除きクルー及びすべての観覧者はレース中コースへの立ち入りをしてはならない。オフィシャルはこの制限を一時的に解除することができる (ライダーが走行不可となり保護者の協力が必要と判断した場合など)。
- 9 すべてのライダーは少なくとも2レースの走行機会が付与される。
- 10 スタートグリッドの割り当ては抽選によって決定するものとする。
- 11 クラス分けはレース当日の年齢によって分けられるものとする。ただし、複数日開催となる場合で、開催クラスによって開催日が異なる場合は、開催日初日の年齢によって全クラスが分けられるものとする。
- 12 ライダー及び保護者は、レース前のフリーイング(注意事項の共有)に参加しなくてはならない。
- 13 ゴール判定は、フロントタイヤの先端がフィニッシュラインに到達した時点とする。(図A参照)



- 14 出場車両は保護者によって安全に整備されていなくてはならない。また以下の安全規則を満たしていなくてはならない。
 - ・ 正しくメンテナンスされ正常に機能すること。
 - ・ ライダーが安全に乗りやすい状態が保たれていること。最終的な判断はオフィシャルによるものとする。
 - ・ シート、ハンドルバーは、既定の最低挿入ラインを越えてはならない。
 - ・ すべてのボルト及びナット類は緩まないよう必要なトルクで締められていなくてはならない。
 - ・ ハンドルバーには樹脂製もしくはラバー製のグリップが装着されていなくてはならない。ハンドルバーエンドはグリップで覆われているか、バーエンドキャップが装着されていなくてはならない。また、グリップもしくはバーエンドキャップが擦り切れるなどしてハンドルバーエンドが露出してはいけない。
- 15 フレーム及びフロントフォークの基本骨格はオリジナルの状態でなくてはならない。つまりフロントフォーク及びフレームをオリジナル以外のパーツに交換すること、フレームやフロントフォークを切断・再溶接するなど基本骨格の構造を変更した車両 (ネック角の変更や、フレーム及びフォークの延長・カットなど) は認められない。
 - ・ ホイールベースはストック状態を維持していなくてはならない。
 - ・ ホイールの取り付け位置はストック状態を維持していなくてはならない。
 - ・ ホイールは袋ナットを使用して取り付けられているか、アクスルシャフトのねじ山が露出してはならない。
 - ・ アクスルシャフトに突起物を装着してはならない。またアクスルシャフトの先端部分がフレーム及びフロントフォークの装着位置から20mm以上突き出していなくてはならない。
- 16 いかなるブレーキ装置も装着してはならない (ブレーキ動作による後続車両の追突を防ぐため)。
- 17 ハンドル、ステム、シート及びシートポスト、ホイールなどの社外パーツの装着はオフィシャルの判断によって安全面で特に問題が無い限り認められる。
※身体的ハンディキャップを補う目的によってフレーム等を特殊に改造された車両は事前申告によって出場が認められる。
- 18 ハンドルバーは以下規定値の範囲内で装着されていなくてはならない。
 - ・ タイヤ接地面からハンドルバーのセンターまでの高さ
 - A. 450mm以上
 - B. 660mm以内
 - ・ ヘッドチューブセンターからハンドルバーセンターまでの距離
 - C. 60mm以内
 - D. 120mm以内
 - ・ 片側ハンドルバーエンドから片側ハンドルバーエンドの長さ (ハンドルバーの長さ)
340mm以上~460mm以内
- 19 社外品のホイールを装着する場合、サイズは12インチでなくてはならない。
- 20 すべてのライダーはヘルメットを装着しなくてはならない。ヘルメットは「SG、CE、CPSC、EN」いずれかの安全規格を取得していなくてはならない。ヘルメットのサイズは適切なものとし、走行中にずれるようなことがあってはならない。転倒した際ヘルメットが脱げないように、あご紐は適正な位置で締めなくてはならない。
- 21 すべてのライダーは運動に適した靴を履かなくてはならない。靴はつま先、かかとを完全に覆い、足にしっかりと固定されるものでなくてはならない。スリッポンやサンダルなど運動に不適切な靴は使用できません。またスパイクシューズの使用は認められません。
- 22 保護者は子どもの体調、健康、安全について責任を持たなくてはならない。
 - ・ 子供に対して一切の暴力行為、暴言行為を行ってはならない。
 - ・ アクティビティや天候状況によって適切な服装をさせなくてはならない。また、肌が露出しないような長袖、長ズボンでの服装を強く奨励します。
 - ・ 転倒時の怪我防止のため、肘・膝のプロテクター・グローブ (指先が露出しないタイプを推奨する) は原則着用させなくてはならない。肘・膝のプロテクターは硬質樹脂製カップ (プラスチック系素材)、または衝撃吸収性の高いパッドが付属していなくてはならない。
 - ・ イベント中、適切に食事や水分補給をさせなくてはならない。
- 23 レース結果に関する抗議は、その当該レース終了後30分以内に行われなければならない。抗議の30分以内にオフィシャルから正式な決定が伝達されます。決定事項に対する抗議は受け付けません。

STRIDER CUP 14インチ 世界統一レギュレーション (2019年3月15日改定)

- 1 保護者は、すべての規則を順守しなくてはならない。
- 2 出場可能車両はSTRIDER (ストライダー) 14xモデルのみとする。
- 3 14xはランニングバイクモードのみで出場が認められる。ペダルモードでの出場は認められない。
- 4 自己所有の車両のみ出場が許可される。共有車両での出場は認められない。
- 5 保護者はライダーがコースに入る前に参加同意書に署名を行い提出しなければならない。
- 6 保護者はライダーの年齢を証明する保険証を所持し、オフィシャル (運営スタッフ) の求めに応じて提示しなくてはならない。
- 7 すべてのライダーはスターティングエリアでクルー1名の付き添いを許可される。クルーは保護者もしくはライダーを監督できる小学生以上でなくてはならない。
- 8 クルーはレーススタート時にライダーの体に触れてはならない (スタート時にライダーの背中を押す行為は厳禁とする)。
- 9 緊急時を除きクルー及びすべての観覧者はレース中コースへの立ち入りをしてはならない。オフィシャルはこの制限を一時的に解除することができる (ライダーが走行不可となり保護者の協力が必要と判断した場合など)。
- 10 すべてのライダーは少なくとも2レースの走行機会が付与される。
- 11 スタートグリッドの割り当ては抽選によって決定するものとする。
- 12 クラス分けはレース当日の年齢によって分けられるものとする。14xクラスの年齢は4歳以上6歳以下とする。
- 13 ライダー及び保護者は、レース前のフリーング(注意事項の共有)に参加しなくてはならない。
- 14 ゴール判定は、フロントタイヤの先端がフィニッシュラインに到達した時点とする (図A参照)



- 15 出場車両は保護者によって安全に整備されていなくてはならない。また以下の安全規則を満たしていなくてはならない。
 - ・ 正しくメンテナンスされ正常に機能すること。
 - ・ ライダーが安全に乗りやすい状態が保たれていること。最終的な判断はオフィシャルによるものとする。
 - ・ シート、ハンドルバーは、既定の最低挿入ラインを越えてはならない。
 - ・ すべてのボルト及びナット類は緩まないよう必要なトルクで絞められていなくてはならない。
 - ・ ハンドルバーには樹脂製もしくはラバー製のグリップが装着されていなくてはならない。ハンドルバーエンドはグリップで覆われているか、バーエンドキャップが装着されていなくてはならない。また、グリップもしくはバーエンドキャップが擦り切れるなどしてハンドルバーエンドが露出してはいけい。
- 16 フレーム及びフロントフォークの基本骨格はストック(オリジナル)状態であってはならない。つまりフロントフォーク及びフレームをオリジナル以外のパーツに交換すること、フレームやフロントフォークを切断・再溶接するなど基本骨格の構造を変更した車両 (ネック角の変更や、フレーム及びフォークの延長・カットなど) は認められない。
 - ・ ホイールベースはストック状態を維持していなくてはならない。
 - ・ ホイールの取り付け位置はストック状態を維持していなくてはならない。
 - ・ ホイールは袋ナットを使用して取り付けられているか、アクスルシャフトのねじ山が露出してはならない。
 - ・ アクスルシャフトに突起物を装着してはならない。またアクスルシャフトの先端部分がフレーム及びフロントフォークの装着位置から20mm以上突き出していはいけい。

ブレーキは必須ではないが、前輪、後輪、もしくは両輪で認められる。ブレーキは前輪のバンド、ドラム、キャリパーのいずれでもかまいません。ブレーキ取り付けに伴うフレーム及びフロントフォークの改造は認められません。デスクブレーキは認められません。

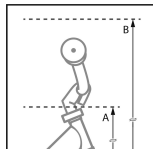
- 18 ハンドル、ステム、シート及びシートポスト、ホイールなどの社外パーツの装着はオフィシャルの判断によって安全面で特に問題が無い限り認められる。

※身体的ハンディキャップを補う目的によってフレーム等を特殊に改造された車両は事前申告によって出場が認められる。

- 19 ハンドルバーは以下規定値の範囲内で装着されていなくてはならない。

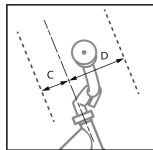
- ・ タイヤ接地面からハンドルバーのセンターまでの高さ

- A. 520mm以上
- B. 800mm以内



- ・ ヘッドチューブセンターからハンドルバーセンターまでの距離

- C. 80mm以内
- D. 160mm以内



- ・ 片側ハンドルバーエンドから片側ハンドルバーエンドの長さ (グリップを含むハンドルバーの長さ)
410mm以上~480mm以内

- 20 社外品のホイールを装着する場合、サイズは14インチでなくてはならない。

- 21 すべてのライダーはヘルメットを装着しなくてはならない。ヘルメットは「SG、CE、CPSC、EN」いずれかの安全規格を取得していなくてはならない。ヘルメットのサイズは適切なものとし、走行中にずれようがないことがあってはならない。転倒した際ヘルメットが脱げないように、あご紐は適正な位置で締めなくてはならない。

- 22 すべてのライダーは運動に適した靴を履かなくてはならない。靴はつま先、かかとを完全に覆い、足にしっかりと固定されるものでなくてはならない。スリッポンやサンダルなど運動に不適切な靴は使用できません。またスパイクシューズの使用は認められません。

- 23 保護者は子どもの体調、快適性、安全性について責任を持たなくてはならない。

- ・ 子供に対して一切の暴力行為、暴言行為を行ってはならない。
- ・ アクティブティや天候状況によって適切な服装をさせなくてはならない。また、肌が露出しないような長袖、長ズボンでの服装を強く奨励します。
- ・ 転倒時の怪我防止のため、肘・膝のプロテクター・グローブ (指先が露出しないタイプを推奨する) は原則着用させなくてはならない。肘・膝のプロテクターは硬質樹脂製カップ (プラスチック系素材)、または衝撃吸収性の高いパッドが付属していなくてはならない。
- ・ イベント中、適切に食事や水分補給をさせなくてはならない。

- 24 レース結果に関する抗議は、その当該レース終了後30分以内に行われなくてはならない。抗議の30分以内にオフィシャルから正式な決定が伝達されます。決定事項に対する抗議は受け付けない。